

その他		
主要施策	主要施策	施策名
その他	その他	開かれた議会を目指して
		人権擁護の確立に向けての推進

平成21年度 施策評価表

施策名	9999999901 開かれた議会を目指して（議会事務局）		
評価担当部署名	議会事務局	部長名	山田 富巳夫
	議会事務局	課長名	池 昌映

1. 施策の基本方針

施策目的	地方分権時代の観点から、今議会に求められているチェック機能を果たすために、議会情報をいち早く知らせ、今市民が議会に対し何を求めているのかを的確に捉えることを目的とする。
------	--

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等（具体的事項）			施策を取り巻く環境（社会環境，国・県の動向等）					
	議会傍聴アンケートより ・議会日程を知りたい ・どんなことが決まったのか知りたい ・どんな活動をしているのか知りたい ・議会を傍聴したい ・住民に十分な情報を			地方分権の進展により、施策のチェック機能としての地方議会の役割が大きくなっている。全国的にも開かれた議会を目指し、議会改革が進んでいる。					
施策指標 （成果指標）	指標の内容		区分	達成度（上段：目標 下段：実績）					備考（他市状況含む）
	主要	議会ホームページのアクセス数(累計)	目標	H18	H19	H20	H21	H22	
			実績	-	-	45,000	75,000	75,000	
			達成率		39,264	71,069	/	/	
	参考	議会傍聴者数	目標	-	-	300	200	200	傍聴者受付集計から
			実績	239	299	215	/	/	
			達成率			71.7%	/	/	

3. 施策の方向性

総合評価	コストの方向	次年度以降の方針	市の運営に関してのチェック機能として議会の役割を強化し、併せて市民に活動状況を公表し市民意識を高める。
	維持		

4. 施策を構成する事業の状況

事務事業名	総事業費の概算（千円）		成果（活動）指標の状況					事業の方向性
	H19	H20	指標名	単位	H18	H19	H20	
1 議員調査研究事業	9,013	11,193	情報提供件数(独自調査したもの)	件	-	40	194	C
2 議会運営支援事業	298,160	156,038	会期日数(本会議日数)	日	-	29	31	A
3 議会広報活動事業	3,306	2,663	議会報発行までの日数	日	-	30	30	C
4 会議録作成業務	9,031	7,359	作成期間	日	-	78	70	B
5 政務調査費交付業務	5,120	2,760	議員	人	-	57	28	B

平成21年度

施策評価表

施策名	9999999902 人権擁護の確立に向けての推進		
評価担当部署名	市民環境部	部長名	金子 優
	市民課	課長名	佐藤 弘之

1. 施策の基本方針

施策目的	市民が身の回りの様々な人権問題に対して、正しく理解を深めお互いに差別や偏見のない明るい地域社会の構築のため、研修の機会を設ける。
------	--

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等（具体的事項）		施策を取り巻く環境（社会環境，国・県の動向等）						
	<ul style="list-style-type: none"> 人権問題等の情報の提供 佐渡市人権教育・啓発推進計画書（平成20年3月策定）による施策の推進（平成19年度～23年度まで5ヵ年） 研修会等の機会の提供 市内在住の拉致被害者等の自立と社会適応の支援 		<ul style="list-style-type: none"> 人権教育・啓発に関する基本計画（平成14年3月策定） 新潟県人権教育・啓発推進基本指針（平成16年4月策定） （市町村と連携を図りながら人権教育・啓発を推進する。） 						
施策指標 （成果指標）	指標の内容	区分	達成度（上段：目標 下段：実績）					備考（他市状況含む）	
			H18	H19	H20	H21	H22		
	主要	アンケートの中の（理解できた。概ね理解できた。割合（％））	目標	-	-	-	50	50	・アンケートの中の（理解できた。概ね理解できた。割合（％））
			実績						
			達成率						
	参考	・拉致被害者等に対する自立・社会適応の支援事業	目標	-	-	90	92	95	・地域社会になじむための学習実施率（％） 実施済項目数÷学習項目数＝
			実績			90			
			達成率			100%			
	参考	人権に関する講演会の参加者数（市職員を対象に）	目標	-	-	44	50	50	・平成20年度 7月11日開催 参加者 職員44名、人権委員8名 ・平成21年度 7月15日実施予定
			実績			44			
			達成率			100%			
	参考	人権に関する講演会の参加者数（市民を対象に） 拉致被害者の人権問題を考える。	目標	-	-	-	350	350	・平成20年8月3日開催、アミューズメント佐渡（講演：横田夫妻、中山内閣総理大臣補佐官）参加予定1,200人 ・平成21年8月1日予定、アミューズメント佐渡（講演：沖藤典子他）
実績					1200				
達成率									

3. 施策の方向性

総合評価	コストの方向	次年度以降の方針	人権問題の認識を市民へ引き続き普及啓発すると共に、講演会などの開催条件を見直しコスト縮減に努める。
	縮小		

4. 施策を構成する事業の状況

事務事業名	総事業費の概算（千円）		成果（活動）指標の状況					事業の方向性
	H19	H20	指標名	単位	H18	H19	H20	
1 帰国家族支援事業	10,872	12,565	カリキュラム達成率	％	40	45	70	B
2 人権擁護事業	5,861	14,090	研修参加者数	人	-	-	1,252	C
3 県人権・同和センター負担金	0	10	-	-	-	-	-	C